

平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	2,137	3.0	△19	—	△12	—	△21	—
25年11月期第3四半期	2,075	△0.5	△51	—	△45	—	△35	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	△7.52	—
25年11月期第3四半期	△12.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第3四半期	7,457	6,593	88.4	2,338.76
25年11月期	7,580	6,650	87.7	2,358.41

(参考)自己資本 26年11月期第3四半期 6,593百万円 25年11月期 6,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,890	1.2	42	—	43	—	28	—	9.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	3,339,995 株	25年11月期	3,339,995 株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	520,756 株	25年11月期	520,166 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	2,819,501 株	25年11月期3Q	2,819,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)における日本経済は、政府による金融、経済対策を背景に円安、株高基調で推移し、輸出を中心とした大手企業の業績の改善が見られました。また、個人消費については消費税率引き上げの影響を大きく受け、購買意欲の落ち込みも見られました。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、消費税率の引き上げ後、需要の減少が長く続いていることや、梅雨明け以降の豪雨や自然災害など天候不順の影響で屋外での活動が制限を受けることとなり、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期の売上高は21億37百万円(前年同期比3.0%増)となりました。また、営業損失は19百万円(前年同期間 営業損失51百万円)、経常損失は12百万円(前年同期間 経常損失45百万円)となり、四半期純損失は21百万円(前年同期間 四半期純損失35百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、年初の寒波による各地の記録的な降雪量が釣行に影響を及ぼしました。また梅雨明け以降の天候不順の影響も受けることとなり、釣具店を中心に店頭販売が苦戦いたしました。こうした厳しい市況が続く中、当社では、ルアー用品、フライ用品とともに、新製品を早期に投入し営業活動に努めました。この結果、フィッシング事業の売上高は7億93百万円(前年同期比1.6%増)となりました。また、円安進行による輸入コスト上昇や一部在庫品の値下げ販売の影響を受けたものの、セグメント利益(営業利益)は1億10百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、冬季のシーズンは強い寒気により気温が低く推移し、防寒、防水性などの機能を特長とする衣料やアクセサリに安定した動きがみられました。

夏季シーズンには天候不順の影響のなか、防虫機能を備えた「スコーロン」製品に注目が集まりました。また販売先の拡大に努めたことなどにより、アウトドア事業の売上高は13億31百万円(前年同期比3.6%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は44百万円(前年同期比27.8%増)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第3四半期累計期間に関しては、その他売上高は13百万円(前年同期比26.9%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は8百万円(前年同期比47.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億23百万円減少し74億57百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少2億30百万円や有価証券の満期償還による減少3億円の一方、季節的な要因による商品及び製品の増加2億31百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3億36百万円減少し、40億17百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の取得2億円などにより、前事業年度末に比べ2億12百万円増加し、34億39百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ66百万円減少し8億63百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億20百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ1億23百万円減少し、5億87百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が65百万円増加した一方、退職給付引当金が8百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ56百万円増加し2億76百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ56百万円減少し65億93百万円となりました。これは主に、四半期純損失21百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出33百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年1月17日発表の「平成25年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,831	1,155,836
受取手形及び売掛金	586,368	542,828
有価証券	1,214,244	914,176
商品及び製品	1,094,689	1,326,574
その他	73,288	79,697
貸倒引当金	△1,759	△1,628
流動資産合計	4,353,663	4,017,485
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	751,251	714,242
土地	2,011,097	2,011,097
その他(純額)	19,331	48,789
有形固定資産合計	2,781,680	2,774,129
無形固定資産	20,353	69,089
投資その他の資産		
その他	426,544	596,685
貸倒引当金	△1,618	—
投資その他の資産合計	424,926	596,685
固定資産合計	3,226,961	3,439,904
資産合計	7,580,624	7,457,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	552,446	432,089
未払法人税等	20,376	12,725
返品調整引当金	19,510	13,076
賞与引当金	—	10,871
その他	118,240	118,745
流動負債合計	710,574	587,507
固定負債		
退職給付引当金	136,105	127,458
その他	83,643	148,899
固定負債合計	219,749	276,358
負債合計	930,324	863,866

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	1,989,602	1,934,555
自己株式	△290,253	△290,582
株主資本合計	6,640,796	6,585,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,504	8,103
評価・換算差額等合計	9,504	8,103
純資産合計	6,650,300	6,593,523
負債純資産合計	7,580,624	7,457,390

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	2,075,711	2,137,930
売上原価	1,119,335	1,167,713
売上総利益	956,375	970,216
返品調整引当金戻入額	19,523	19,510
返品調整引当金繰入額	11,929	13,076
差引売上総利益	963,969	976,650
販売費及び一般管理費	1,015,051	995,865
営業損失(△)	△51,081	△19,214
営業外収益		
受取利息	3,299	2,277
受取配当金	543	850
為替差益	1,321	3,033
その他	642	884
営業外収益合計	5,807	7,044
営業外費用		
支払利息	81	9
その他	10	335
営業外費用合計	91	344
経常損失(△)	△45,365	△12,513
特別利益		
保険差益	408	—
特別利益合計	408	—
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	233	—
固定資産除却損	754	18
特別損失合計	988	18
税引前四半期純損失(△)	△45,945	△12,532
法人税、住民税及び事業税	10,530	9,730
法人税等調整額	△21,417	△1,053
法人税等合計	△10,887	8,676
四半期純損失(△)	△35,058	△21,209

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	781,158	1,284,242	2,065,401	10,309	—	2,075,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	781,158	1,284,242	2,065,401	10,309	—	2,075,711
セグメント利益又は損失(△)	105,569	34,944	140,514	6,106	△197,702	△51,081

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△197,702千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	793,842	1,331,001	2,124,843	13,086	—	2,137,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	793,842	1,331,001	2,124,843	13,086	—	2,137,930
セグメント利益又は損失(△)	110,089	44,655	154,745	8,976	△182,936	△19,214

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△182,936千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。